

ある将来に向けて



市は平成29年度の一般会計当初予算額を456億7,700万円としました。厳しい社会情勢の中でも健全な財政を維持し、夢と活力ある将来に向けて歩みを進めるため、前年度予算額と比べてマイナス2.3%、10億8,800万円減の堅実な予算を編成しました。

重点施策に三原市版「三本の矢」を掲げ、一の矢「交流人口の増加」、二の矢「定住人口の増加」、三の矢「出生率の向上」を、事業全体を横断する共通ミッションに位置づけ、各事業へ積極的に取り組んでいきます。

平成29年度 一般会計当初予算
456億7,700万円
 (前年度比マイナス2.3%、
10億8,800万円減)

市の人口は減少傾向が続き、併せて高齢化が急速に進むなど、これまでに経験したことのない人口構造に変わりがつあります。経済面では、昨年12月の景気観測調査で、市内事業者の景況感は好転していないことが明らかとなり、国のいう回復基調は未だ実感できていない状況です。

こうした厳しい情勢ではありますが、新たな時代を切り拓き、「元氣な三原」を実現するため、現在、「三原市まち・ひと・しごと創生総合戦略」に基づき、地方創生に取り組んでいるところです。今年度はこの総合戦略の計画期間5年の折り返しとなる3年目に当たり、確実な実行とともに結果も求められる年です。

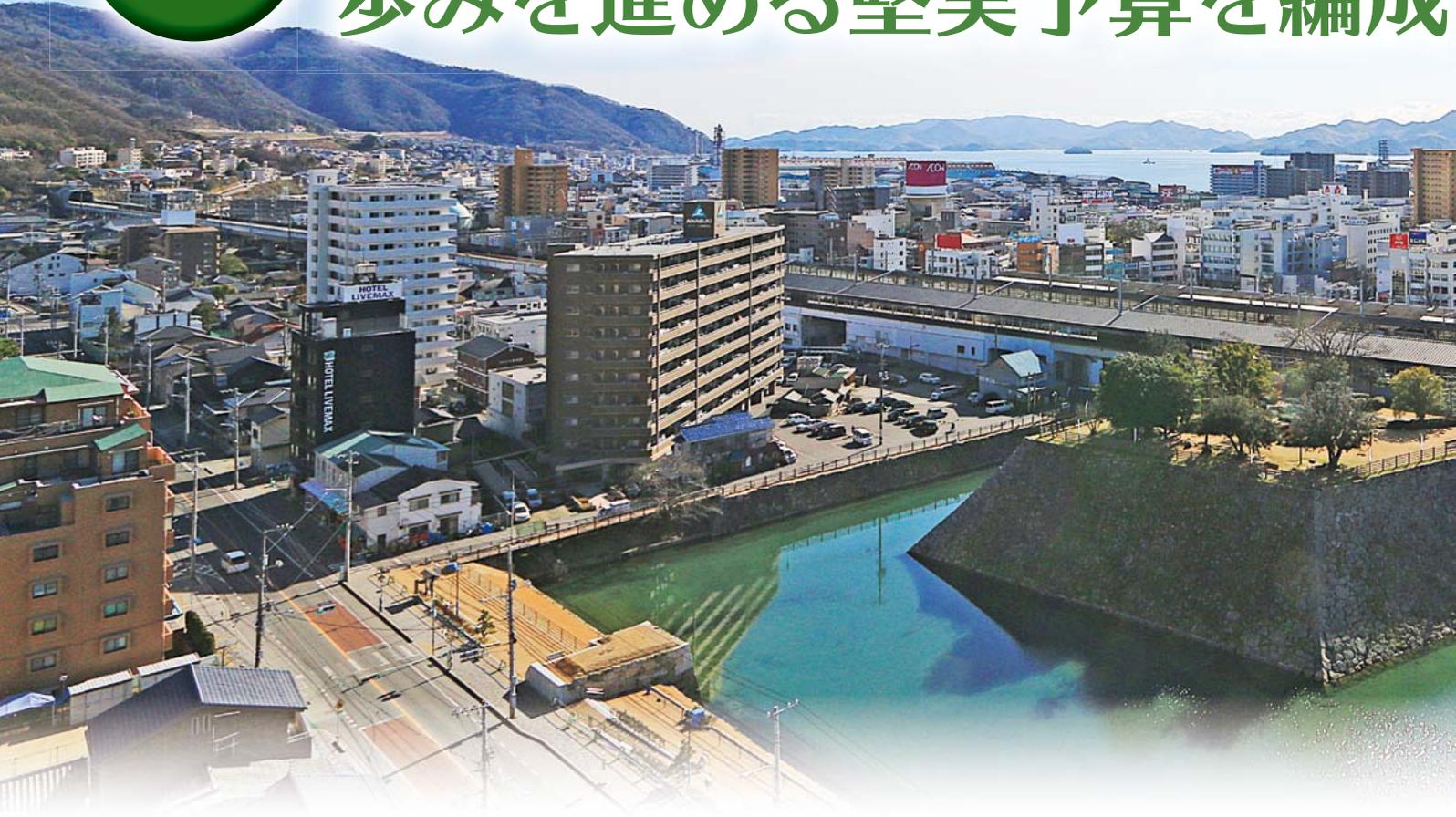
多くの人に「訪れてみたい」と思われ、市民が誇りと愛着を持ち、多くの人と交流できるまちになるよう、今年度も全力で取り組んでいきます。

財政課

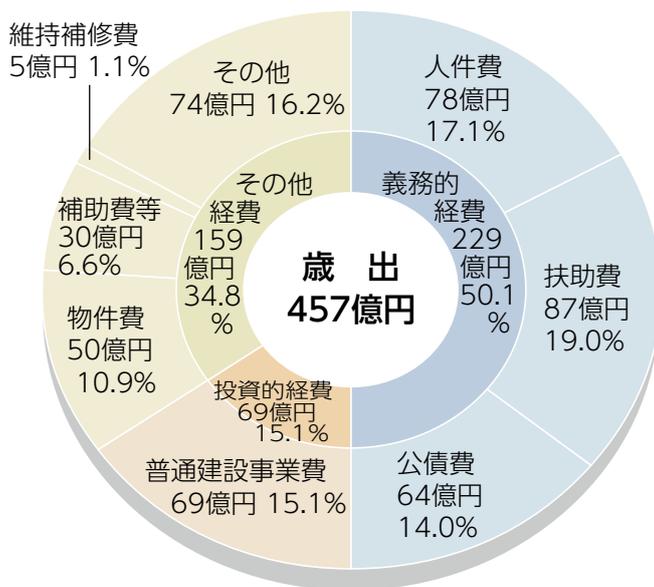
☎0848・67・6028

平成29年度
予算

健全な財政を礎に、夢と活力 歩みを進める堅実予算を編成

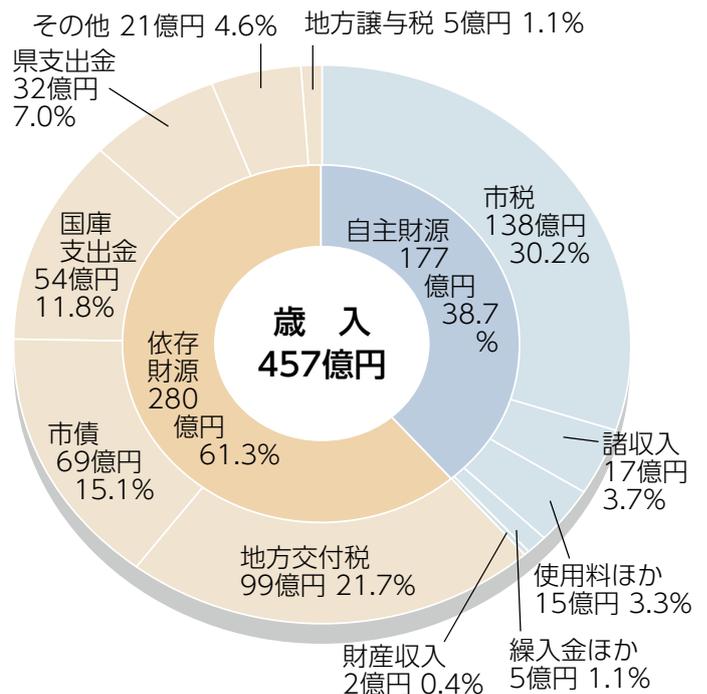


一般会計(歳出)



※その他は、積立金、出資金・貸付金、繰出金です。

一般会計(歳入)



※その他は、利子割交付金、配当割交付金、株式等譲渡所得割交付金、地方消費税交付金、ゴルフ場利用税交付金、自動車取得税交付金、地方特例交付金、交通安全対策特別交付金です。

平成29年度主な新規・拡充事業と予算

今年度を実施する主な新規・拡充事業とその予算額を、長期総合計画の項目ごとに紹介します。

地域の文化と多様な人材を育むまち

新しい三原をつくる協働のまち

〔人権・男女共同参画〕

- 男女共同参画推進事業…161万円
女性が就業しやすい職場環境づくりに向け、新たに企業経営者向けのセミナーを実施



▶男女共同参画を推進するために開催しているセミナーの様子

〔元気な地域〕

- 地域支援員活用事業…2,170万円

地域支援員を増員し、地域活性化を支援。配置方法を支所単位から住民組織単位へ変更し、さらに地域密着型へ

- 住民組織協力費…2,471万円

ごみの分別や清掃など住民組織の地域美化活動に助成を拡充

- 地域おこし協力隊活動支援事業

行政や関係団体と連携して地域活動の維持・活性化に取り組む地域おこし協力隊を3人から4人へ増員

- シェアハウス等改修補助

空き家を活用した学生向けシェアハウスの開設費用と入居学生の家賃を一部補助

- 移住者家賃補助…363万円

市外から移住する40歳未満の夫婦世帯、または15歳未満の子どもがいる世帯の家賃を一部補助

〔教育〕

- 小学校プール過機改修工事

老朽化している三原小・西小・小泉小のプールろ過機を改修し、児童が安全に泳げる環境を整備

- 小・中学校トイレ改修設計

中之町小・沼田小・幸崎小・本郷中・久井中のトイレを洋式・乾式などに改修

▼児童・生徒が快適に学校生活を過ごせるようトイレを計画的に改修



改修前



改修後

する設計を実施

- 久井小プール建設工事

簡易水道の整備に併せ、久井小にプールを新たに整備(平成30年度供用開始予定)

- 若者居場所づくり事業…24万円

関係団体と連携して交流の場などをつくり、ひきこもりやニートの状態にある若者の社会復帰を支援

〔生涯学習、文化・スポーツ〕

- リージョンプラザ改修工事

文化ホールとレストランのトップライト(天窗)の防水改修工事を実施

- 秦森康屯新収蔵作品展開催…52万円

市出身画家の秦森康屯の市所蔵作品のうち、遺族から寄贈を受けて新たに所蔵した絵画などの展覧会を開催(今月23日まで市民ギャラリー)

- 和霊石地蔵保存事業…56万円

海水などによる浸食が進んでいる県重要文化財の磨崖和霊石地蔵(鷺浦町向田野浦)の修理・保存

健康 やかに暮らせる人に優しいまち

子ども・子育て



▲出生率の向上をめざし、子育てしやすい環境を整備

●地域型保育事業費補助

6,301万円

0～2歳児を対象とした定員19人までの小規模保育所、企業などが設置する事業所内保育所の運営費を補助。小規模保育所は新たに1園を開園予定

●子ども居場所づくり事業費

1億7,639万円

放課後児童クラブを1カ所新設し、全28カ所へ。うち6年生までの受け入れを新たに6カ所増やし、全16カ所で開始。放課後児童支援員認定資格取得のための研修受講奨励金を支給

●不妊検査費等助成事業

1,013万円

不妊検査・一般不妊治療費助成に加え、妻の年齢が43歳未満の夫婦を対象にし

た特定不妊治療・男性不妊治療へも助成を拡大

●私立認定こども園運営助成事業

7億5,998万円

新規開設する1園、保育所から移行する2園を含め、全6園の私立認定こども園の運営費を助成



▲4月に開園予定のあんず認定こども園(幸崎渡瀬)

【健康・医療】

●予防接種事業

2億1,834万円

感染の恐れがある疾病の発生とまん延を予防するため、各種予防接種を実施。昨年10月からはB型肝炎を追加

【福祉・介護】

●地域支援事業費

2億178万円

介護保険法の改正に伴い、要支援1・2認定者への訪問・通所サービスを全国一律の予防給付から、市実施の地域支援事業へ移行

安心して快適・安全に住み続けられるまち

●生活困窮者学習支援事業……34万円
県立広島大学三原キャンパスの学生と

協力し、生活保護または児童扶養手当受給世帯の中学生の学習を支援

住み続けられるまち

【防災】

●自主防災組織設立・育成事業

493万円

自主防災組織の新規設立や統合による再編、訓練の実施、資器材の購入などにかかる費用を補助



▲訓練の実施などで自主防災組織の各種活動を支援

●災害時一斉情報伝達手段整備事業

4億2,764万円

災害時一斉情報伝達のためのFM告知端末を未配布世帯へ配布

●木造住宅耐震改修補助事業

295万円

耐震基準を満たさない木造住宅の耐

震化を促進する補助対象に、部分耐震改修と耐震シェルターの設置を追加

【環境】

●清掃工場改修事業

1億2,000万円

建築物などが老朽化している清掃工場で、屋根のふき替えやエアコン設備の改修などを実施



▲稼動から17年が経過し、建築物などが老朽化している清掃工場

【生活基盤】

●新三原斎場建設事業

8億3,860万円

新三原斎場の建設に伴う施設建設と用地購入、補償など

様々な産業と多彩な交流による活力あるまち

【商工業・サービス業】

●商店街振興事業……………855万円

地元商店街と大規模小売店舗が連携して構築している地域循環型コミュニティポイントシステムについて、カードの普及と加盟店の拡大を推進



▲三原うきしろWAONカードにポイントを付与できる専用機を4台増設

●シルバー人材センター運営費補助……………1,222万円

高齢者の就業機会の拡大と福祉の増進を図るため、シルバー人材センターへの補助金を増額

【農林水産業】

●放任園等活用事業費補助……………115万円

有害鳥獣の被害で耕作が困難になった農地を再活用するための資材費を補助

●新規需要米等生産拡大支援事業……………9,920万円

旧神田小の跡地の一部に米粉用米低温貯蔵庫を整備し、大和地域農業振興部が行う米粉用米PR活動を補助



▲旧神田小跡地に建設中の製粉工場。旧校舎には地元の加工事業者が入居

【観光・交流】

●三原食のブランド化推進事業……………2,000万円

「三原タコ」「地酒」「スイーツ」の3品目について、取扱認証店舗へのコンサルティンク、モニターツアーなどを実施し、認知度の向上とブランド化を推進

●瀬戸内三原築城450年事業推進協議会事業負担金……………1億円

各種イベントの開催や観光ツアーの企画・実施、四大祭りなどの開催規模拡大、広報宣伝など、事業を実施する協議会へ負担金を支出

●雪舟サミットin三原……………250万円

雪舟ゆかりの自治体が集い、雪舟の業績を顕彰し、友好の輪を広げる行事を開催

【交流・連携基盤】

●道路新設改良事業……………6億6,253万円

社会資本整備総合交付金事業5路線の

ほか、市単独道路事業34路線の道路改良を実施。円一皆実線のJRR線羽仁踏切との立体交差、古城通系崎線や本町古浜線など、都市計画道路の整備を推進

●ケーブルネットワーク施設の機器更新……………1億2,000万円

老朽化した情報ネットワーク機器を計画的に更新し、ICT(情報通信技術)を生かしたまちづくりを継続

計画の実現に向けて

【効果的・効率的な行財政運営】

●ブランドデザイン検討事業……………1,050万円
ふるさと納税の積立金「みはらふるさと夢基金」を財源に、市中心部の活性化と将来のまちづくりのあり方を示す「ブランドデザイン」を検討

●新庁舎建設事業……………10億8,390万円

建築主体工事と電気・空調換気・給排水衛生などの各設備工事を実施

【透明性の高い行政運営と情報発信】

●コミュニティFM整備・活用事業……………1億5,072万円

コミュニティFM局開局に向け、スタジオなどを整備し、運営法人を支援



▲コミュニティFMで災害情報だけでなく、地域の情報なども発信